

第47回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年4月8日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配布資料

第47回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○三浦災害対策副本部長

・村井災害対策本部長は現在東京におられる。本部長とは発災後からやり取りをしているが、政府への要望の一部はしっかり活動させていただいた後に戻ることとしていて、現在仙台に向かっている。

夕方、再度災害対策本部会議を実施することとしている。

○阿久津内閣府大臣政務官

・様々な部署に対応していただいた。国民を代表し感謝申し上げますと共に、改めて被災者の皆様にお見舞い申し上げます。政府会議を2時から開催し、避難所等状況、被害状況の把握を指示したところである。ライフラインの状況など確認を要する。国も全力を挙げ被害状況の把握等を行う。

○小野寺危機管理監

・余震の人的被害について、重傷者1人(栗原市)、軽症47人(うち栗原市で27人)。住

家・非住家被害は、全壊が4棟(涌谷1, 美里3), 半壊が1棟(涌谷1), 一部損壊94棟(利府88棟), 非住家被害7棟(美里6棟, 涌谷1)。ライフラインの被害状況はまだ調査中の市町村が多い。

- ・ガス局からの被害状況について、ガス漏れが3時現在で159件発生しており、都市ガスの復旧率57.5%である。

○仙台管区気象台

- ・4月7日の23時32分にマグニチュード7.4を観測した。
- ・余震について、プレート境界型(宮城沖地震)と多少異なるのではないかと確認している。
- ・大雨警報6割方で発令、今日から運用開始する。

○今野総務部長

- ・エレベーターは一旦すべて止めたが、6時30分から3基のみで運転している。
- ・県庁1F, 2Fで漏水した。
- ・地震の直後近隣住民数十人が県庁に避難しており、うち一人の方が体調不良を訴えていた。
- ・救急車を呼んだが、搬送には至らず、その後回復されて帰宅されている。
- ・災害対策本部天井からネジ, ビスが30個ほど落下した。
- ・合同庁舎は今のところ被害の報告はなし。

○伊藤企画部長

- ・東北新幹線、那須塩原ー一ノ関間、元々震災以来未復旧だったが、さらに北の青森まで終日運転を見合わせている。秋田、山形新幹線については、全区間午前中あるいは終日運転を見合わせ点検をしている。

- ・県内各在来線については終日運転見合わせ。大船渡線は4月1日に一関～気仙沼間復旧していたが、午前中運転見合わせて点検をしている。
- ・阿武隈急行は点検を終了し運行を開始している。
- ・仙台市営地下鉄，仙台市営バス，宮交バスは昨日の地震の影響はない。
- ・情報システム関係，昨日の地震での影響はない。

○小泉環境生活部長

- ・余震について，女川原子力発電所に異常はなかった。
- ・埋葬関係について，4月7日に東京都による火葬協力の意思が表明された。
- ・福島第一原子力発電所事故対応に係るモニタリング結果，低い数値で安定している。
- ・「宮城県災害廃棄物処理対策協議会」を4月13日に延期する。

○岡部保健福祉部長

- ・余震後の災害拠点病院状況について，断水，停電していて労災病院・坂総合病院で手術が出来ない状況にある。
- ・自家発電等で対応している病院もある。
- ・循環器・呼吸器病センターは自家発電で対応している。精神医療センターでも若干漏水があった。がんセンターはガスの点検待ち。子ども病院は支障がない。
- ・東日本大震災の福祉施設等の被害額について，民間等社会福祉施設約34億増加した。
- ・震災孤児について，累計19名。現在親戚による保護10名，児童福祉施設入所2名，調整中7人である。
- ・ボランティアについて，昨日は1,700人ほどの活動状況である。

○河端経済商工観光部長

- ・特になし。

○千葉農林水産部長

- ・余震被害について、塩釜漁港内臨港道路で2ヶ所亀裂・段差が生じたため通行止め。
- ・その他、余震についての大きな被害報告はない。
- ・農林水産業関係被害状況、現在調査中である。
- ・「東日本大震災早期営農再開支援センター」の設置について、マスコミにPR活動をお願いしたい。
- ・東日本大震災で破損した冷凍冷蔵庫内の水産物の海洋投入について説明。

○三浦災害対策副本部長

- ・「東日本大震災早期営農再開支援センター」の主体は県か？

○千葉農林水産部長

- ・県がリーダーシップを取りながら関係機関と共同で運営することになる。

○橋本土木部長

- ・被害額は40億円増の4,528億円となっている。
- ・余震被害について、県管理道路規制を11路線13ヶ所追加した
- ・高速道路の通行止め状況は資料の通り。
- ・仙台空港は、特に被害はない。
- ・仙台港に「清和丸」が入港した。

- ・流域下水道流末処理施設について、応急復旧を実施中である。
- ・それぞれの施設において、停電により自家発電を行っているので2日くらいは持つが、早急に通電復旧をお願いしたい。

○自衛隊

- ・余震被害について沿岸部中心に視察した結果、牡鹿半島で崖崩れが起きていたが、その他特に異常はなかった。
- ・生活支援については数字に特に大きな変化はない。
- ・ご遺体は80体を収容している。

○竹内警察本部長

- ・余震被害について、栗原市で42歳の女性が左足首を骨折した。
- ・東北自動車道、古川ICより北33ヶ所の亀裂や破損等を発見。
- ・管制センターで直接制御している信号機は928基あるが、そのうち余震前は88基が滅灯だったが、余震直後485基まで滅灯が増えた。8日8時40分現在は295基滅灯している。
- ・免許センターで水漏れが発生している為、業務を休止している。
- ・遺体安置状況について、昨日101体収容し累計で7,781収容。遺族に6,528体、市町村へ294体、累計6,822体引渡したが、現在引渡すことができない遺体が959体ある。現在全安置所に1,522体収容されている。
- ・県下の遺体の写真台帳を全安置所、警察署にも備え付けている。
- ・身元不明者の携帯番号14件を公開した。

○消防庁

- ・余震被害について、火災4件、救助21件(主にエレベーター内に閉じ込められたなど)、ガス漏れ64件発生し、救急134件、搬送65名。搬送の中に重傷者はいない。
- ・今日の日の出から19時30分まで消防防災ヘリ4機を(3機を沿岸部に、1機を山形県との県境に)情報収集のため飛行したが、特段の以上はなかった。
- ・本日沿岸部を中心に、救急消防援助隊157隊589名で活動を実施する。

○海上保安庁

- ・相馬市から釜石市沿岸部をヘリコプターで調査したが特異事項なかった。
- ・漂流船394隻、すべて無人だが、そのうち使用可能と思われる44隻をえい航し引渡している。
- ・ご遺体2体を収容している。

○東北電力(株)

- ・余震被害について、停電状況は本日7時現在で864,315戸、本日8時現在で766,812戸。停電率は54%である。
- ・日本海側を含めて東北全域で停電しているのが今回の地震の特徴である。
- ・新潟以外火力発電所停止中、午後にかけて順調に進めば起動見込み。秋田火力発電所2号機は今日朝に再開した。

○三浦災害対策副本部長

- ・対応大変だと思うが、港湾、下水道、公共信号など電力なしでは動かないので頑張っていたきたい。

○東北経済産業局

・ガソリンスタンド稼働率87%, 石油製品出荷量対昨年比94%。余震の影響で営業を停止しているガソリンスタンドがある。

○小林教育長

- ・余震被害について、人的・施設で大きいものなし。
- ・本日予定されていた入学式, 始業式, 予備登校を一部延期することに決定した。
- ・来週から沿岸部の市町村に指導主事(一部はさらに事務職員)を派遣した。

○伊藤企業局長

- ・4月7日の余震の被害は甚大であった。
- ・大崎広域水道事務所上水14ヶ所で漏水した。
- ・仙南・仙塩広域水道事務所1ヶ所で800~1000m³の漏水である。
- ・工業用水水道21ヶ所空気弁等から漏水した。

○阿久津内閣府大臣政務官

・昨晚の地震で避難所への食料, 水, 物資の配送を懸念する為, 関係機関連携を密にし, 滞りないよう万全を期してほしい。

○市村国土交通大臣政務官

・村井災害対策本部長は東京におられるが, 昨晚の地震の影響で急遽県庁に戻られることになり, 官邸と海上保安庁で協力し村井災害対策本部長がいち早く戻れるよう国で手配した。

○三浦災害対策副本部長

- ・ 昨晚の余震対策，被災者対応について検討したいと思っている。

次回は4月8日18時00分に開催する。